

仕様

- 鍵盤(61鍵 5オクターブ)
- トーン・セレクター
ピアノI
ピアノII
ハーブシコードI
ハーブシコードII
- アルペジオ
レート
レンジ(1oct, 2oct, 3oct)
モード(UP, UP/DOWN, DOWN)
キーボード・スプリット(ON, OFF)
アルペジオ(ON, OFF)

- サステイン
タイム
モード(I, OFF, II)
- ポリウム
- チューン
- パワースイッチ
- 内蔵スピーカー(12×8cm 2W)
- 接続端子
アウトプット・ジャック
レベル切替(L, M, H)
ヘッドホン・ジャック
サステイン・ペダル・ジャック

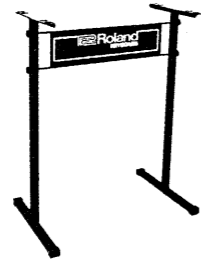
- 定格
消費電力.....14W
外形寸法.....880(W)×285(D)×115(H)mm
重量.....7.5kg
- 付属品
2.5m接続コード(LP-25)
ペダル・スイッチ(DP-2)
*仕様・外観は改良のため変更する場合があります。

オプション

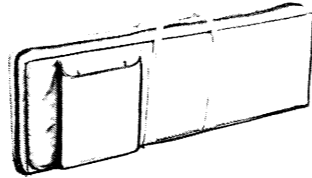
●ヘッドホン RH-10



●スタンド KS-1



●ソフトケース SC-3



■外部アンプと共に使用していただくオプション (EP-09と外部アンプの間に接続して使用して下さい)

- フット・ポリウム FV-2

- エフェクター



- CE-2 ● 拡がりのある音割りができるコーラス
- BF-2 ● 独特の音色のうねりが出せるフランジャー
- GE-6 ● 音色に大幅な変化をつけ加えることができるイコライザー

サービス・ステーション

修理をご依頼になる時は、お買い上げ店またはローランド・サービス・ステーションへご相談ください。その場合、次のことをお知らせ下さい。

- ① 製造番号：背面の銘板に表示
- ② お買上げ年月日
- ③ 故障状態を具体的に説明してください。

また、直接お買い上げ店またはローランド・サービス・ステーションへお持ちになる方は、保証書もあわせてご持参下さい。

●ローランド・サービス・ステーション

- 東 京サービス・ステーション：〒101 東京都千代田区外神田3-9-7 (03)251-1391
- 名古屋サービス・ステーション：〒460 名古屋市中区新栄1-49-18 (052)241-4332
- 大 阪サービス・ステーション：〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 (06)681-8661~4
- 福 岡サービス・ステーション：〒812 福岡市博多区博多駅前3-18-6 (092)471-1481



- 本 社 〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 代表 (06)681-8661
- 東京営業所 〒101 東京都千代田区外神田3-9-8 (03)251-5595
- 名古屋営業所 〒460 名古屋市中区新栄1-49-18 (052)241-4332
- 福岡営業所 〒812 福岡市博多区博多駅前3-18-6 (092)471-1481
- 大阪ショールーム 〒530 大阪市北区梅田1-2-200 大阪駅前第2ビル2F (06)346-0552
- シンセサイザースタジオ 〒101 東京都千代田区外神田1-11-6 小■ビル5F (03)257-1301

Electronic Piano

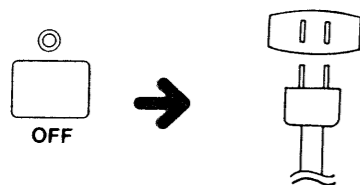
さあ、
弾いてみましょう!!

EP-09の使い方



まず……

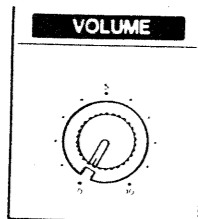
①電源スイッチがOFFになっているのを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



②付属のペダル・スイッチを接続します。

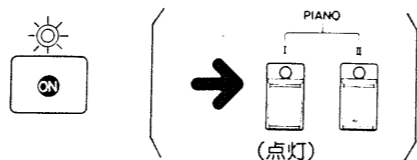


③ボリュームを“0”にセットして下さい。

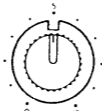


演奏してみましょう。

1 電源スイッチ ON!



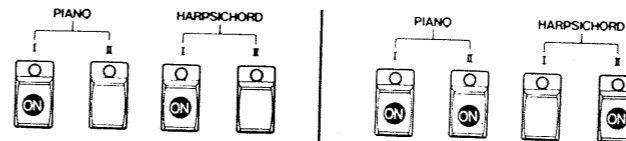
2 ボリュームを“5”にセットして下さい。



4 お好きな音色は?……トーン・セレクター

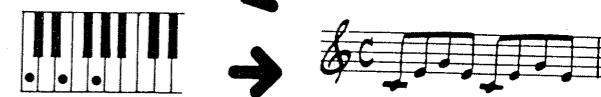
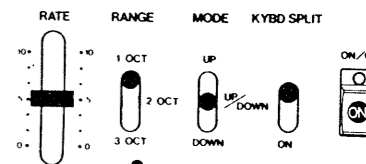
♪ トーン・カラーは4種類
ピアノI, II, パープシコードI, II

♪ ハーモニーはいかが?



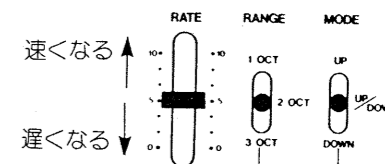
* スイッチは同時に押しましょう。

6 そっとふれる感覚で……アルペジオ

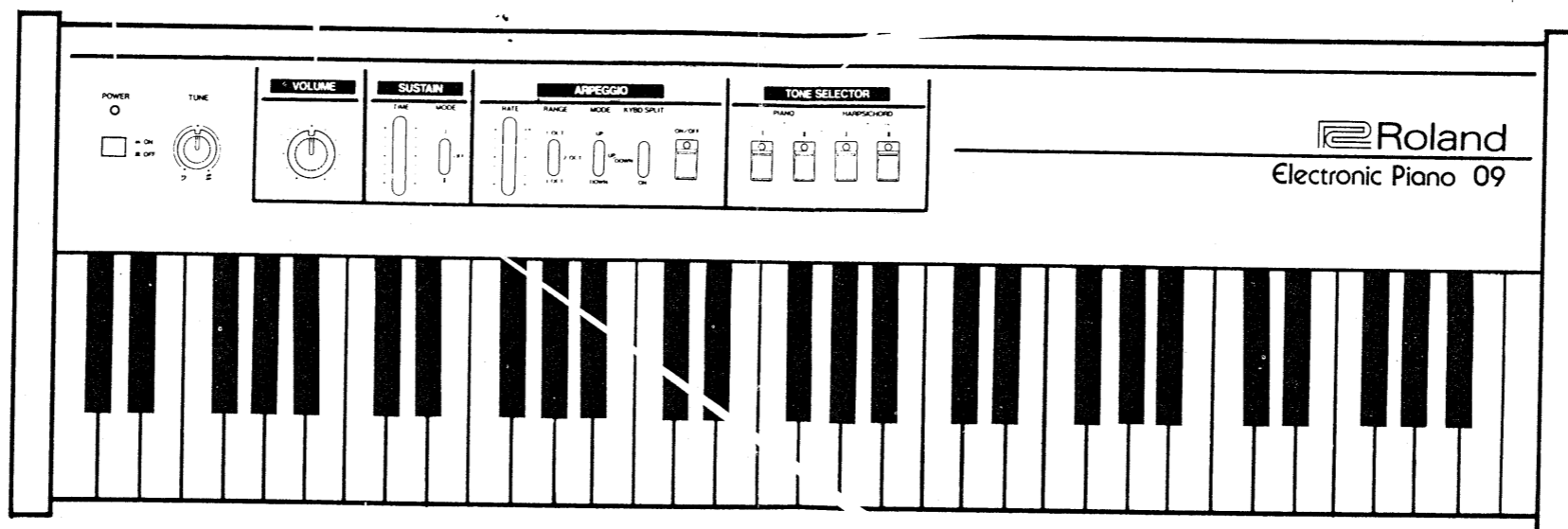


* 和音は同時に押さえます。
* アルペジオ・スイッチをONにしてから、鍵盤を押さえて下さい。

♪ スタイルはいろいろ



* レンジを2octや3octにしても鍵盤より上の音は出ません。
(この場合、鍵盤の範囲内でアルペジオが繰り返されます)

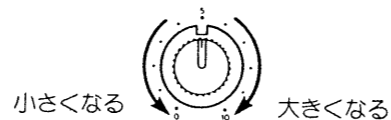


3 さあ、演奏してみましょう!!

♪ 和音は同時に8音まで鳴らせます。

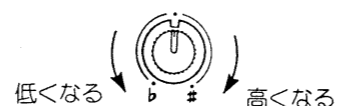
♪ 音量調節は、ボリュームで!!

VOLUME



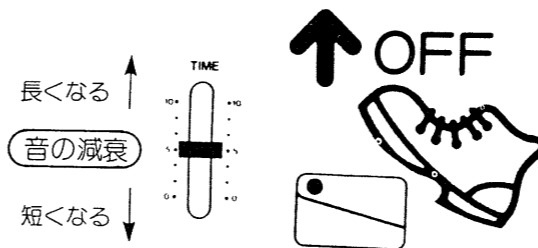
♪ ピッチの調節は、チューン・つまみで!!

TUNE



5 自然な情感を演奏に……サステイン

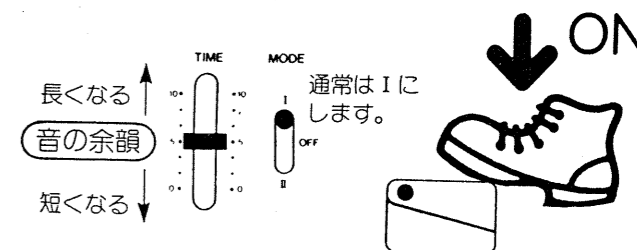
♪ スロー・バラードはロング・トーンで



* スタッカートで弾いた場合は、効果がありません。

* モード (MODE) スイッチの位置には関係ありません。

♪ 余韻をつけて、メロディーにうるおいを



* 余韻をつけて同じ鍵盤を続けて弾いた場合、音色が変わったり音程がオクターブ変化したりした様に聞こえることもあります。故障ではありません。

EP-09

設置場所

●本体の近くにネオン、蛍光灯などがある場合、雑音の原因となりますので、位置を変えてください。

●温度・湿度の高い所やホコリの多い場所での使用は、故障の原因となりますので注意しましょう。

電源

- AC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。
- 電源電圧が90V以下、または110Vを超える所では、電圧調整器で100Vにしてください。
- この製品はAC電源を使用していますので、多少発熱することがありますが故障ではありません。
- 外国で使われる場合は、ローランド・サービスにご相談ください。

《外部アンプをご使用になる場合》

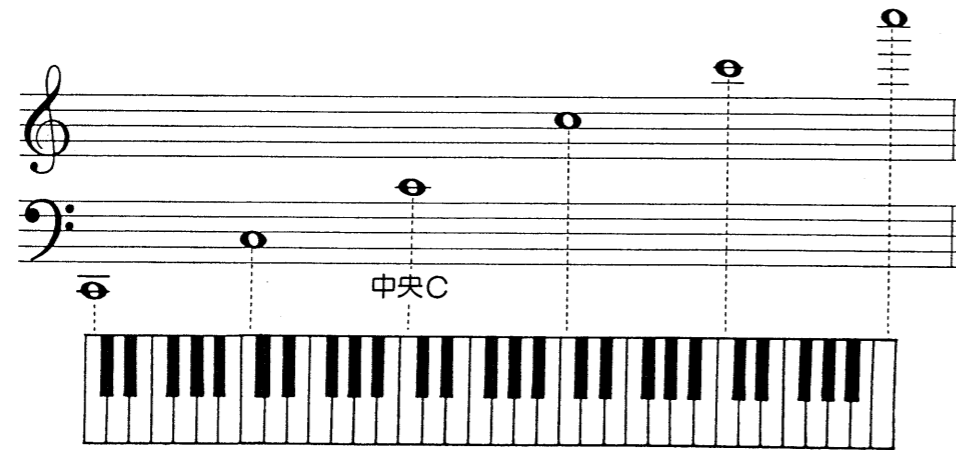
- 接続コードの抜き差しは、本体及び外部アンプの電源スイッチをOFFにした状態で、行なって下さい。

クリーニング

●パネル面の汚れは、中性洗剤で拭き取った後、柔らかい布で空拭きしてください。

- 木部の汚れには、乾いた柔らかい布を使用してください。
- シンナー類の使用は避けてください。

音域表

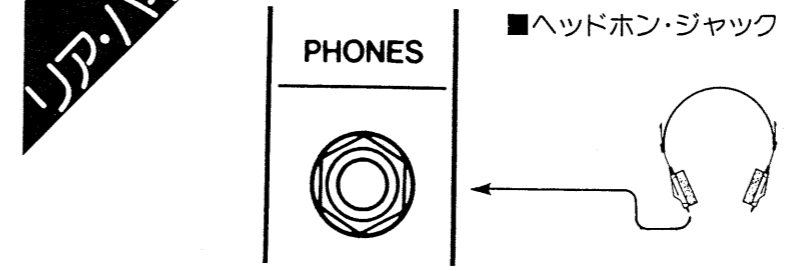


音のエチケット

●EP-09を演奏される場合は、他の方に迷惑がかからないような音量でお楽しみください。

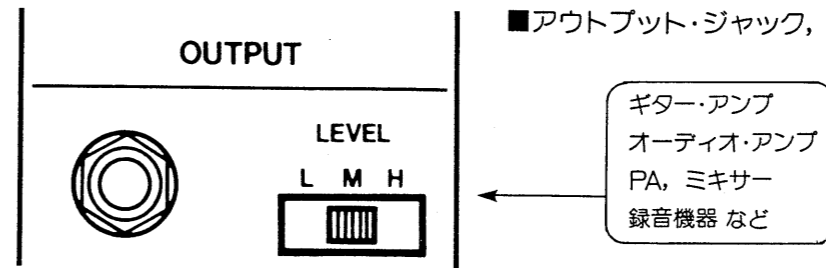
●特に、夜間は音の通りがよくなります。カーテンをしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどの心遣いが大切です。

リア・パネル



■ヘッドホン・ジャック

- * 普通のステレオ・ヘッドホンが使えます。
- * ヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーの音は自動的に切れます。
- * 音量はボリュームで調節して下さい。



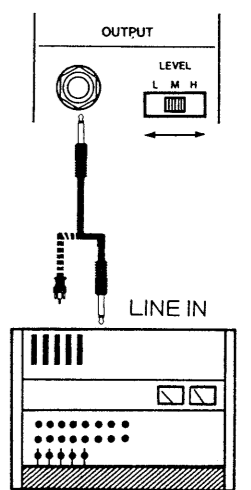
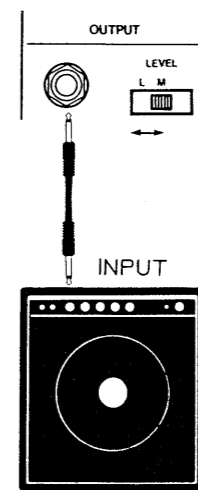
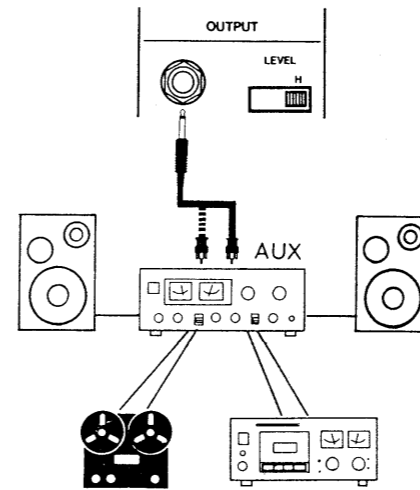
■アウトプット・ジャック, レベル切替スイッチ

- * コードをつなぐと、内蔵スピーカーの音は自動的に切れます。
- * 接続する機器に応じて、レベル切替スイッチをセットして下さい。

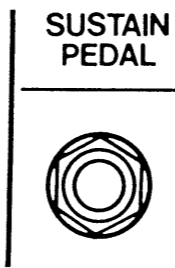
▶オーディオ・アンプにつなぐ時

▶ギター・アンプにつなぐ時

▶PA, ミキサーにつなぐ時



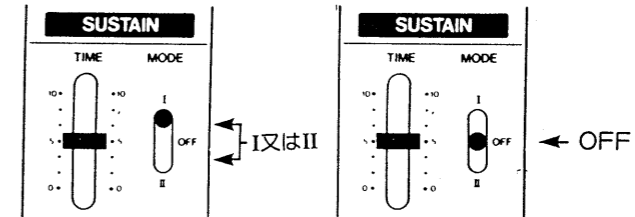
ペダル・スイッチをつなぐに演奏する場合



- サステイン・モード・スイッチの切替操作だけで、ペダルをふんだ時と同じ状態になります。

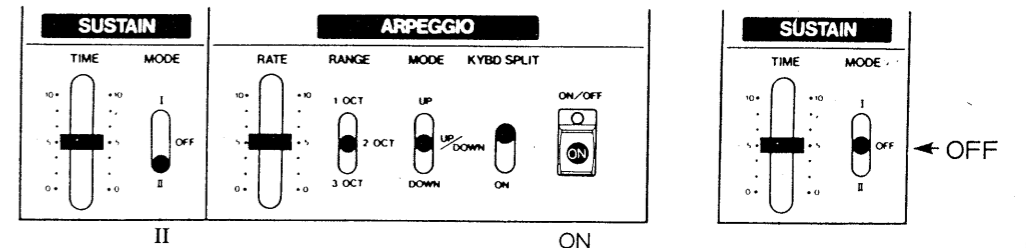
*なるべくペダルを使用しての演奏に、慣れて下さい。よりリアルな演奏が楽しめます。

■音に余韻をつける時は…… とる時は……



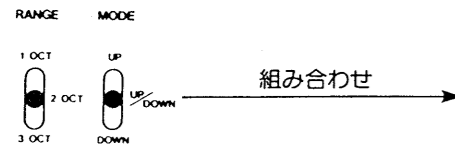
■アルペジオをホールドする時は……

止める時は……



アルペジオの効果的な使い方

♪ アルペジオのスタイルは、お好み次第

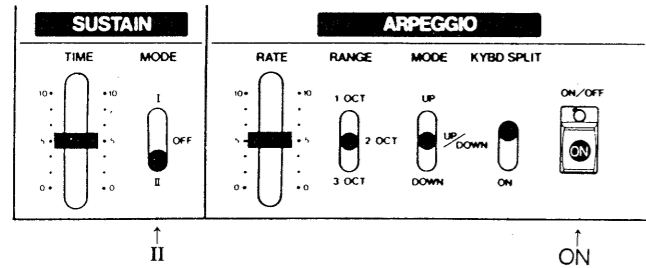


※押さえる和音の音数によってもスタイルがかわります。“サンプル・アルペジオ”を参考にしてください。

● の場合の音の出かた(アルペジオ・パターン)

RANGE \ MODE	1 oct	2 oct	3 oct
UP			
UP/DOWN			
DOWN			

♪ オート・アルペジオが楽にできる“ホールド”のしかた

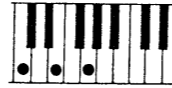


※ペダルを離すまで、アルペジオは連続演奏されます。

※押さえた鍵盤はすべてホールドされ音が重なっていきますので、和音を押しがえる際はペダルも踏み直して下さい。

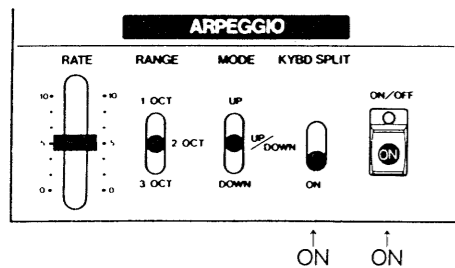


和音を押しがえてから、指を離します。

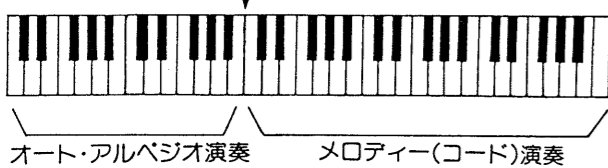


※アルペジオをホールドした場合でも、アルペジオのレンジとモードを切替えることができます。

♪ オート・アルペジオの伴奏で、メロディーを演奏



〈アドバイス〉
アルペジオを伴奏として使う時は、アルペジオが1小節単位で繰り返すようにすると、非常に効果的です。(サンプル・アルペジオを参照して下さい)



※オート・アルペジオの音量は、メロディー演奏とのバランスをとるために、多少小さくセットされています。

●アルペジオON時のサステイン・モード

モード	I	II
↑OFF	OFF	サステインON
↓ON	サステインON	サステインON ホールドON

- 注意：必ず、アルペジオのON/OFFスイッチをONにしてから、鍵盤を押さえて下さい。(止まってしまう場合があります)
- *止まってしまった場合には、次のようにして下さい。
- ①鍵盤から指を離します。
 - ②ON/OFFスイッチを押します。(OFF)
 - ③もう一度スイッチを押します。(ON)
 - ④鍵盤を押さえます。

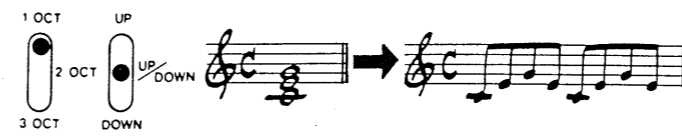
サンプル・アルペジオ

アルペジオを伴奏として使う場合には、アルペジオが1小節内で完結する形、つまり1小節単位で繰り返すようにすると非常

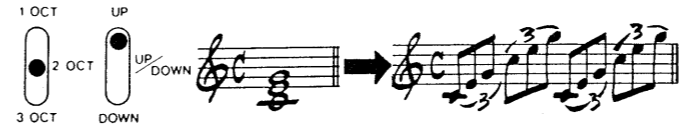
に効果的です。そのためには、和音の音数や拍子に応じたレンジとモードの選択が必要になります。

※なお譜例は和音を同時に押えた場合で、少しでも和音の各音を押えるタイミングがずれた場合は違ってきます。

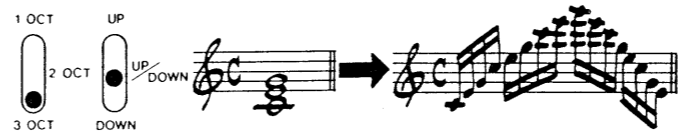
①三音のアルペジオ(1oct, UP/DOWN)



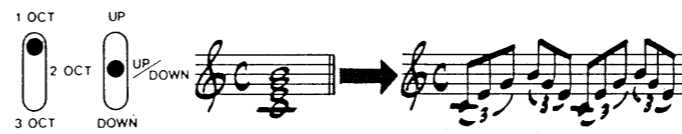
②三音のアルペジオ(2oct, UP)



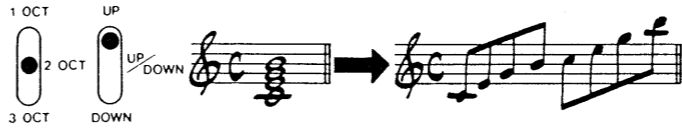
③三音のアルペジオ(3oct, UP/DOWN)



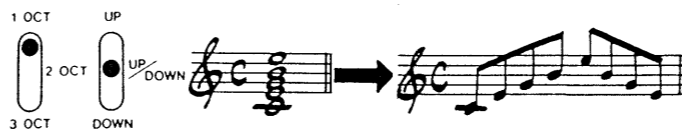
④四音のアルペジオ(1oct, UP/DOWN)



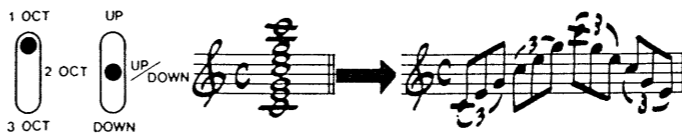
⑤四音のアルペジオ(2oct, UP)



⑥五音のアルペジオ(1oct, UP/DOWN)

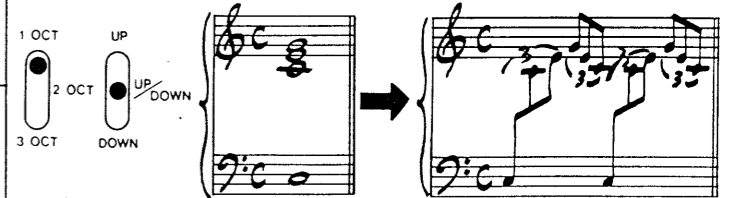


⑦七音のアルペジオ(1oct, UP/DOWN)



⑧ベース音が入るアルペジオ(1)

●左手でベースの1音を、右手でコードの3音を押さえます。



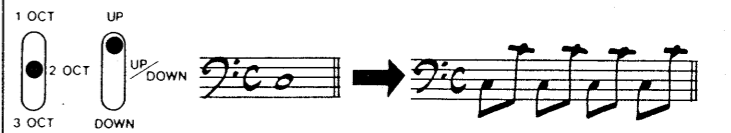
⑨ベース音が入るアルペジオ(2)

●左手でベースの1音を、右手でコードの2音を押さえます。



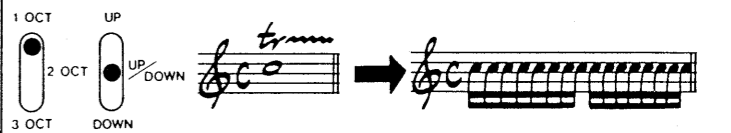
⑩アルペジオの特殊な使用法(ベース奏法)

●単音で弾きます。キーボード・スプリット・スイッチをONにして、コード演奏やメロディー演奏にあわせて使います。



⑪アルペジオの特殊な使用法(トレモロ奏法I, II)

●単音で弾きます。トレモロの速さは、レートで調節します。



●シロホンのようなオクターブ音によるトレモロ奏法です。

